

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年第 3 回定例会

順番	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	要 旨	答 弁 を 求める者
1	8	白 石 純 一	1 本市の財政について	(1) 決算について、目的別費用歳出割合を令和元年度から令和 5 年度までの 5 年間の平均で本市と県内の類似市を比較すると、本市は、民生費、土木費が大きい一方、農林水産業費、商工費が小さい傾向にあるが、どのような要因があると考えているか。	市長
				(2) 過去10年余りにおいて、基金額の比率と将来負担比率の推移をみると、本市は県内他市に比べかなり高い水準で改善を続けているが、市民サービスに継続的な投資が行われていないのではないか。	市長
			2 阿久根市産業連関表について	(1) はじめて本市の産業連関表が作成されたが、その結果をどのように分析したか。	市長
				(2) その分析を踏まえ、どのような産業振興策を打つか。	市長
			3 旧港エリアの利活用について	市は、旧港エリアを利活用するための再開発計画の課題として、旧港内に占用している漁協の施設があることを挙げていたが、先日、施設が撤去された。旧港エリアの再開発計画を進めないのか。	市長
			4 市役所、番所丘公園等で行われている太陽光発電の事業（マイクログリッド事業）について	(1) 電気料金は、九電など他の電力会社と比べ割高とみられるが、発電施設の固定資産税により相殺されているといえるか。数的根拠を示せ。	市長
				(2) 匿名組合出資にはどのようなリスクがあると考えているか。	市長
			5 道路行政について	(1) 市道中央線は、国道 3 号の代替道路になる路線であり、災害時の避難道路としての機能を確保しなければならないと考えるが、中屋敷区から弓木野区まで	市長

				の区域は車道も狭く、がけ崩れの危険性もある。この区間を改良する考えはないか。 (2) 市道大田赤瀬川線の国道3号から鶴翔高校までの区間の拡幅及び歩道設置は、令和10年度の完成を目標としているとのことであるが、より早期に完成するように進めることはできないか。	市	長
			6 新図書館について	現在の計画地は水害、津波、地盤沈下など低地特有のリスクがある。また、鉄道の駅、バス停からも一定の距離がある。設置に適している立地と考えているのか。	市長・教育長	
			7 原子力災害避難について	(1) 令和7年第2回定例会の一般質問において、市のホームページで原子力災害における避難先などの情報が閲覧しづらいと指摘したことに対し、見やすいホームページの作成を進めるよう考えると答弁されたが、改善されたか。	市	長
			8 鶴川内中学校の統廃合方針について	(2) 本市には放射線防護施設が整備されておらず、整備する必要がある、特に大川地区の避難所には必要性が高いと考えるが、整備の必要はないか。 教育委員会は、令和7年春までに、保護者・地域住民の意見の取りまとめを行い、統廃合でまとまった場合は統廃合を行うとの方針であったが、保護者・地域住民の意見が統廃合でまとまったことで令和10年4月の統廃合方針を決めたのか。	市	長
2	6	渡 辺 久 治	1 旧港の利活用について	(1) 最近、旧港敷地内の古い建物や工作物が解体撤去されたが、どのような経緯で実施されたのか。 (2) 今後、青果市場跡地活用事業を旧港も含めて広げていく考えはないか。	市	長

			2 家庭ごみの処理について 3 区の加入率について 4 新しい市立図書館の建設について	(1) 最近、指定袋に記名がないものが増えていると感じるが、状況を把握しているか。 (2) 区に加入していない市民のごみ出しの状況を把握しているか。 令和6年第2回定例会の一般質問において、集落ごとの区加入率を市報等で毎年度公開するよう提案したことについて、区長会と協議を行うと答弁されたが、協議を行ったか。 (1) 現時点での建設予算規模と建設時期を示せ。 (2) どのような図書館を目指すのか。 (3) 令和6年第1回定例会の一般質問において、新たに郷土資料館を建設する計画はない、現在の郷土資料館の活用方法は今後とも検討していくと答弁されているが、どのような検討を行っているのか。	市長 市長 市長 市長・教育長 市長・教育長 市長・教育長
3	1	大田基次	1 阿久根大島の観光振興について	(1) 阿久根大島航路を運行している会社が当該航路からの撤退を検討されていると聞いた。航路としての渡船を継続するための施策について伺う。 ア これまでに、運行している会社とどのような協議を行ってきたのか。 イ 撤退を検討されていることに関して、どのような対応を行っていくのか。 ウ 航路維持のために支援策を拡充することはできないか。 (2) 年間渡船客数10,000人の目標を達成するための具体的な施策について伺う。 ア 誘客強化のためのプロモーションやイベント計画など、どのような戦略を立てているのか。	市長 市長

			2 補助金申請手続の簡略化について	イ 令和7年度から阿久根大島渡船補助事業を拡充し、7・8月以外は小学生以下の運賃を全額補助することとしたが、現在までの利用状況はどうなっているか。また、今後はどのように展開しようと考えているか。 (3) 阿久根大島を含めた形で観光客の回遊性を高めるために、観光推進組織であるまちの灯台阿久根や、地元の関係事業者とどのように連携しているか。 (4) 観光資源として磨き上げるための施策について伺う。 ア 魅力を高めるための施設整備の予定があるか。 イ 来島客からの苦情や意見はどのようなものがあるか。そして、その苦情や意見にどのように対処しているか。 市民個人や区の申請手続において、記載内容が複雑である、添付書類の作成や収集に苦勞するという意見を聞いている。申請書の記載内容や添付書類を簡略化することはできないか。	市	長
4	5	高 崎 良 二	1 産業振興の施策について	(1) まちづくりビジョンの基本目標1「阿久根に産業の成長をつくる。」の具体的な施策を伺う。 ア (1)「産業」を守るに、市内事業者の積極的な事業展開への支援とあるが、どのような施策、事業を行っていくのか。 イ (2)「産業」を創るに、あらたな企業の誘致とあるが、どのような施策、事業を行っていくのか。 (2) 5月末に薩摩國広域輸出協議会の取組として香港でプロモーションを行ったことについて伺	市	長

			2 阿久根市農林業振興センターについて	う。 ア どのような成果があったか。 イ 今後はどのような施策を行っていくのか。 (1) 広報あくね7月号に掲載されたパッションフルーツの栽培試験について伺う。 ア 記事に関する問合せはあったか。あった場合、どのような内容であったか。 イ 阿久根市の未来農業を語る会議の提案がきっかけであったとあるが、どのような経緯でこの試験栽培に取り組むことになったのか。 ウ 将来的な展開も期待されているとあるが、今後、どのような展開を期待し、施策を行っていくのか。	市	長
			3 観光振興について	(2) パッションフルーツの試験栽培のほかにどのような取組を行っているのか。 まちづくりビジョンの基本目標2「阿久根に人の流れをつくる。」の(1)観光の振興の主な施策について伺う。 (1) 阿久根大島の活用とあるが、どのような事業を行っていくのか。 (2) 体験型観光コンテンツの充実と飲食・宿泊業の連携とあるが、どのような事業を行っていくのか。 (3) 人流データ等を活用した効果的なPRとあるが、人流データの取得と活用状況はどうなっているか。	市	長
5	7	竹之内 和 満	1 阿久根市観光の現状と観光振興について	(1) 全国的にはコロナ後の観光は回復してきているが、直近5年間の本市への観光入込客数・観光消費額の推移はどのようになっているか。	市	長

				(2) まちづくりビジョンの政策分類には、「地域資源を魅力に変え、人を呼び込む」とあるが、阿久根の主な地域資源にはどのようなものがあり、それをどのように魅力に変えていくのか。	市	長
				(3) 観光の振興には、他地域へのPRが必要不可欠であるが、どのような地域に、どのようなPRを行っていくのか。	市	長
				(4) 多くの観光関係者が参画し、観光地域づくりの司令塔となる「観光地域づくり法人（DMO）」をつくる予定はないか。	市	長
				(5) 脇本海岸において、海水浴、サーフィン、海の家、宿泊施設などを含めた観光振興と、NPO法人を中心とした自然環境保護活動との両立をどのように図っていくのか。	市	長
			2 地域医療体制の維持・確保への支援について	公的病院運営費補助事業として、3年間の予定で出水郡医師会広域医療センターへの経営健全化の支援を行っているが、期間後はどのように対応するのか。	市	長